

いまだききの歴史

一番新しい日本の一ページ

京都の快挙!

スポーツ界がもたらしてくれた
 面白い話題に京都は活気づくか?

洛南高校がバスケット全国選抜で、立命館大学がアメフト・ライスボウルで、そして京都パープルサンガが天皇杯で優勝! 全国女子駅伝では京都が2位と健闘。2003年の新年早々、京都に明るいスポーツの話題が次々と舞い込んだ。特に京都サンガに関してはJリーグに籍を置く関西のチーム初の快挙であった。チーム発足から応援し続けてきた京都CFIそして筆者としても嬉しい限り。スポーツ界、勝敗がすべてではないが、まぐれが決してありえないのもまた事実。勝敗の裏には選手や関係者、苦悩と努力があり、その結果としてたったひとつのチームだけが栄冠を勝ち取る。だからスポーツは感動を呼ぶのだ。そして、今回の京都の快挙は高校生、大学生、社会人、そしてプロチームという幅広い層で好結果を出したことで沈滞気味ムードの今、久々に胸のすく話題を提供してくれた京のスポーツ界に心からのおめでとうとありがとうを贈りたい。

激増!! 人身事故
 人に迷惑をかけない自殺はない
 やはり死ぬのはあきらめるべき?



京都にアクセスしている鉄道で、近ごろ「人身事故」が急増中。人身事故によるダイヤの乱れで困った経験をした人も多はず。さて、その「人身事故」の多くは飛び込み自殺。2001年の全国の自殺件数は交通事故死よりも多く、ガン、心臓病とともに死因トップ10内に位置している。

さて、中でも鉄道への飛び込み自殺件数、いろんな人に迷惑がかかる。事故後の処理で多くの人々の足が乱れるのはもちろん、莫大な賠償金がかかることでも有名。ただし、これは遺族への精神的負担を考慮して、実際は請求されない場合が多い。そんなことよりも、遺体の処理に携わる職員、否応なく自殺の手伝いをさせられた運転手の気持ちを考えて、それはもう大変な精神的苦痛。遺体回収作業や清掃作業はわずかの超過手当で行わなければならないとか。運転手に至っては始末書を書かされるという罰則付き! こんな理不尽なことがあっても良いのだろうか? 人類の歴史を振り返ってみても、自殺は確かに選択肢のひとつかもしれない。ただ、死を選ぶ際、まずは迷惑がかかる人のことを考えて欲しい...となるとやっぱり自殺はすべきでないのか?

そのうち警察がコンビニ経営に
 乗りだしたりして...



コンビニポスト

官民が手を取りあって共栄する
 コンビニの嬉しい進化に期待する

今年からローソン店内に郵便ポストが設置され、利用数が一般の郵便ポストなみの実績を記録している。すでに他のコンビニからも打診があり、なかなか好調なすべり出した。筆者もコンビニポストには大賛成。ポストが常に人の目の届くところにあるため、安心して大事な郵便物を投函できるからだ。これが郵政相民営化の布石として行われているとすれば、その着眼点はなかなか。

さて、昔から鎮痛剤や胃腸薬、風邪薬などの医薬品を店頭で置くという強い要望があるが、コンビニ進化のチャンスは官民のコラボレーションにあるような気がする。区役所や市役所と提携して、いつでもコンビニで住民票や印鑑証明を入手できたりというのも便利だ。思い切った意見としては、交番とコンビニが合併するっていうのも面白い。コンビニの配置は警官の理想的な配置と共通する部分があるし、万引き対策やコンビニにたむろするジャリどものしつけにも有効。治安改善間違いなし! ...だよな?

京都出身以外の選手も
 京のスポーツを支えてくれた事を
 忘れぬよう...



文◎大塚 祐希

1200年の古都・京都から、突然5000年前の超古都・イスラエルに流り情報を発信中。一步距離を置いたところから今の日本、そして京都の今を見つめ、未来を切り開くことができるか? ウェブサイトは <http://www1.1cn.ne.jp/tsukapon/>



イラスト◎両口 和史

1967年京都市生まれ。京都精華大学美術学部卒業。北山のオフィスにて様々なキャラクターやイラスト制作をおこなうユニット「キャトル・イラストレーション」のチーフ。猫、フランス車、家具、雑貨、レコード、本、おもちゃ、平日の公園。それらがイラストを構成するエッセンスである。HP◎<http://www.d1.dion.ne.jp/ryoguchi>